

雅楽の世界

～音楽的側面からのアプローチ～

講師 真鍋尚之

2022年12月1日(木)

17時30分～19時10分

《場所》 共立女子大学 本館204講義室

※入場無料

《主催》 共立女子大学・短期大学 総合文化研究所

皆さんは、雅楽を聴いたことがありますか？

雅楽は、古代から中世にかけて中国大陸や朝鮮半島から伝来した音楽や舞と、古くから日本各地に伝わった歌や舞とが融合して、平安後期ごろに大成したものとされています。それから千年以上の時を経て現在まで伝承されてきた雅楽は、様々な形で書物にも記されてきました。

現代に生きる私たちが雅楽を聴いても、よくわからない、あるいは退屈なものに思えるかもしれません。でも、音楽の構造を理解して聞いてみると、一見退屈そうな音楽の聴き方が変わってくるはずです。

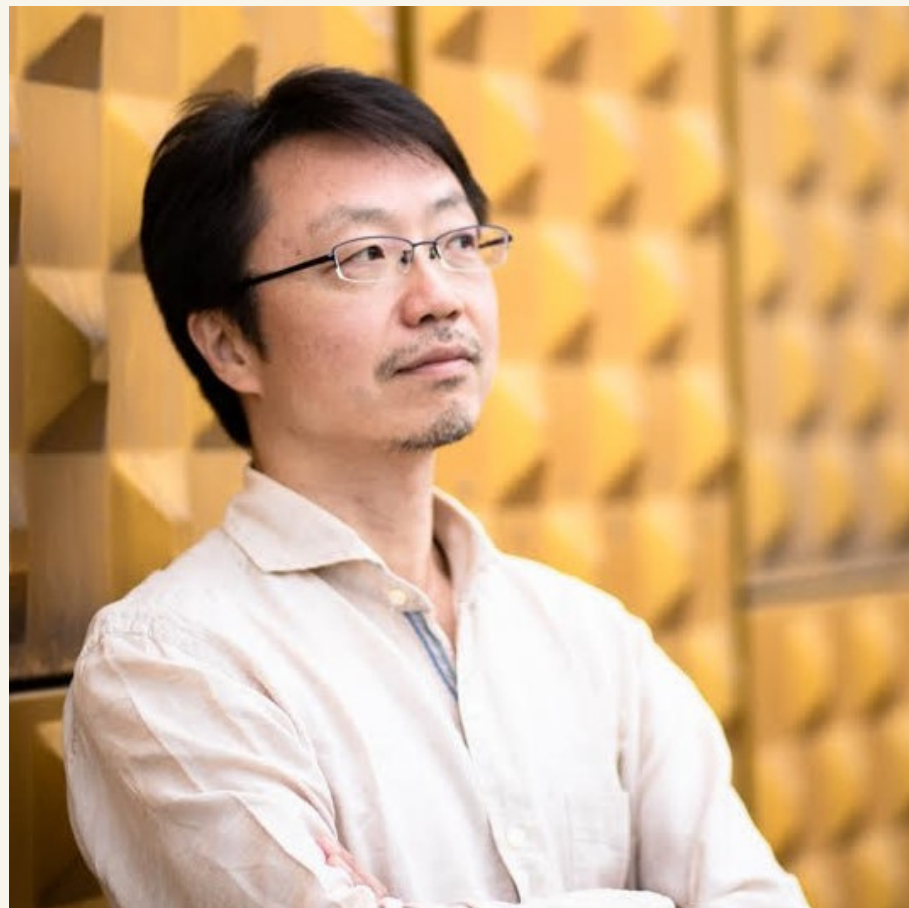
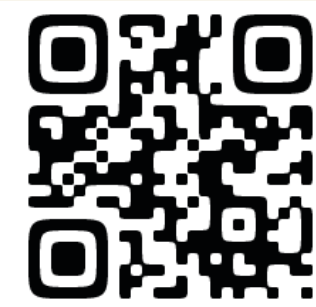
講演会では、雅楽器「笙」の演奏家であり、作曲家でもある、真鍋尚之先生に雅楽の世界へご案内いただきます。



◆講師紹介

真鍋 尚之 / 作曲家・雅楽演奏家。

* オフィシャルサイト <http://sho-manabe.net>



洗足学園大学（専攻／作曲・声楽）
および東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。
作曲および演奏での受賞多数。

伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。文化庁文化交流使としてドイツを中心に笙の新しい可能性を追求した作品を作るための共同作業をおこなった。クラスノヤノスク国際室内楽音楽祭（ロシア）から笙と弦楽オーケストラのための作品の委嘱を受ける。2019年パラグアイ・アスンシオンにてオーケストラと声楽・合唱のための《Acosta Ñu》が初演。作品は世界中で演奏されている。

2020年、若手雅楽の演奏家からなるNaoyuki MANABE GAGAKU Ensembleを立ち上げ、伝統を変える事なく、空間を活かした演出や新しい演奏方法・鑑賞方法を提唱、日本各地で公演を行なっている。

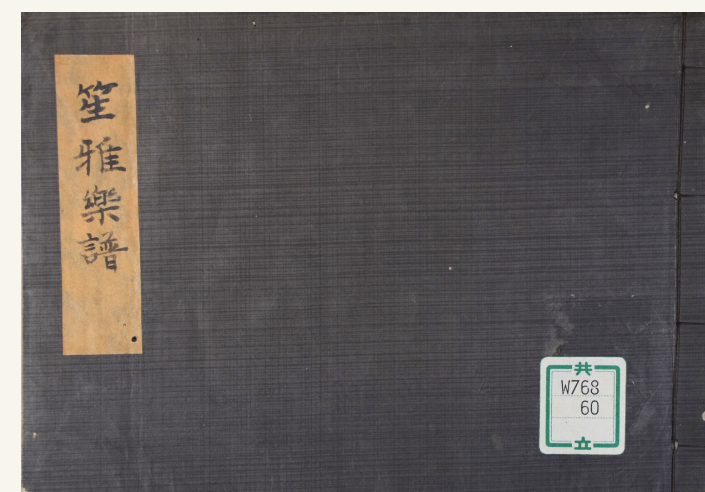
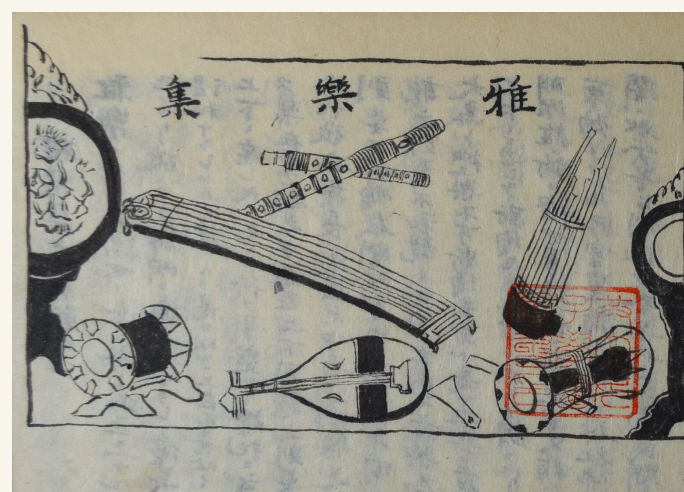
◆同時開催イベント

展示 書物のなかの音楽

期間 2022年12月1日（木）～12月17日（土）

※最終日は13時まで

場所 共立女子大学 本館1階ロビー



主催 共立女子大学・短期大学 総合文化研究所

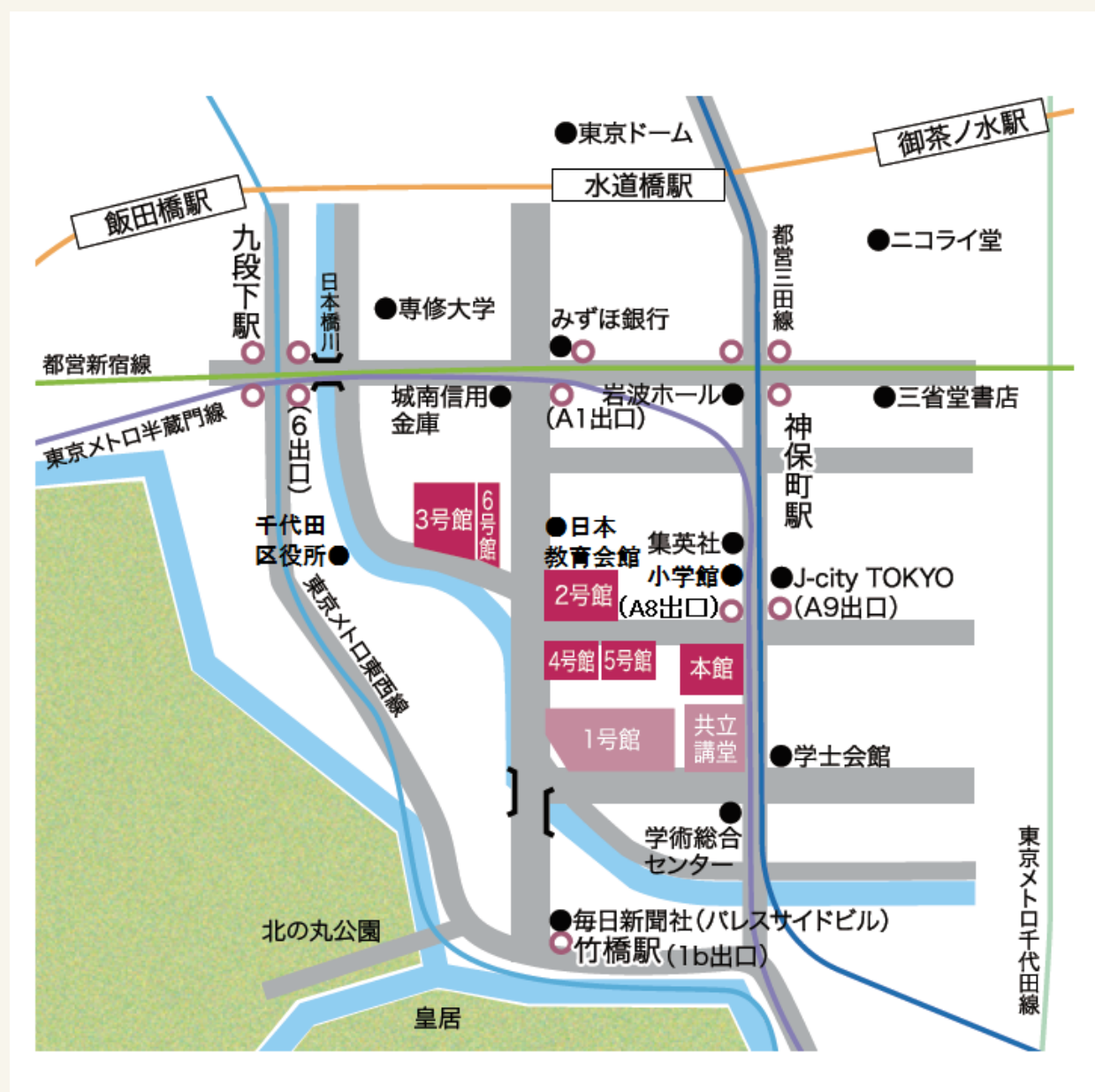
共同研究「共立女子大学図書館所蔵古典籍の書誌学的調査及び研究」

研究代表者：岡田ひろみ（本学文芸学部教授）

共同研究者：堀新（本学文芸学部教授）・土田牧子（本学文芸学部准教授）・

近藤壮（本学文芸学部准教授）・咲本英恵（短期大学文科専任講師）・

飯田さやか（本学非常勤講師）



共立女子大学・共立女子短期大学

〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-2-1

《問い合わせ先》

共立女子大学 文芸学部 日本語日本文学研究室

TEL：03-3237-2588

《アクセス》

- ・東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線
「神保町」駅下車 A8出口から徒歩1分
- ・東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下鉄新宿線
「九段下」駅下車 6番出口から徒歩5分
- ・東京メトロ東西線
「竹橋」駅下車 1B出口から徒歩3分